857
157

曽我物語 五

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

857-157

曽我物語巻第九目録

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

曽我物語巻第九

わづの原そこゐの波もそこ
きえて志づくらをとてまく
れたちうかりて二そびゆづ
のうらなりおいしやうまん
ありまつそてうべ気ぢれば
ぐそ年はみんなうちびう
えぬりほといはうひちそ
えうそでゆうろびあん

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

みんぐりてうつうれねとい
らんとぷふもこと柴(だ)をあん
のいえれりごようろうへとう
うつをみしたりぷれがと
おりへどもぷりごんぼうりに
なひていのすべうずぷおぶ
うけうあいぼとをぼようろぼん
をとろうれりぷいぎやわぐあ(もの)
いめんせんぎうべしとうて
かこへぐゆえうぷ(ぬ)でよ
つてうぷろりかうそぐん
もぐめうてぐぎうまうす

とにうんぎのないうへやあう
うをうまうぷまうてきこう
ううえりやうのあいがづ
ううんため二三日のうういす
ありあうさにおおくそのくつ
してぷその祖(おや)でぐ海(うみ)
をきてぷんでうそのぎあう
とすうが一家(いえ)のえりてよう
せんとそできてうめうんと
ぞおがするんがまうてもうう
ちうてうえんとのぷうぐめ
うすうんぷうめうをきうう

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぱとぐちへぞいでゝおはしける。おとゝ
よはをうれどもこゝろうごかばこそ
きつてもちのみをれてこひくらしけり
おんぐんへまいりかゝるれをこうんといわるゝおも
まそでずりつゝ袖をぬれそぼしつゝ
にるこゝろしをぴるまよりてぴで一人我にまされて
ぎんぐんをぞぐぐやおくこゝにるりてぴれんだうう
みりしるぴようちもなだがひれてうこぴるりまつ
せをそそでおりるぴまるみてそぐりねつ
ひくるぴ。そうよちざり我こめぐぴ。まりこ泊ぴぐうめ
たうげをうぴでぐぴよらぐれまでのありうぬぴやその枕
まそのぴぐをぴいぴのやうにおれぐしたりぴるぴぐを

くりくり紀いのちをばちよろうぴぐぐのうえ
りんをぴてにたむけそまろうおやハ一世れちぐりとハ
ぴせぐをぴこれをうぐうこまてらいせそまいりありうんと。
おるぐぐよう紀とめうれぴさうまれりの二ほでて
そく式たりく伝十郎ぐうこ栄のすゑぴよりうた
ぬぴたいうれらぐるぴぐぴ栄のすゑぴよ
のつりあろぴをうれぴぴのたうのまりぴそハいづれ
もあるぐぐ少んしやうるりぴれぐこハおぐしれ
おぶようだう三郎ぐそぐへぜしま
そでおうとう通三郎をよびてるんちいうぬそぐへ
うんべしぐそでをばよへまいてせよぴむあらハそぐまよ
ぶそまろぐ迷ぴぬんの時ハ法せんどにうりまいてせい

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

べきようずいぶんとうけしをたちのかくれよいぢう
よくくしてぱれぶらぶらゆきもおんなよそんぢうへぢうへとぢもお
それるぐらぐらにんれみどものかくこにはらんうへぢうのこと
らうしてぱうれはもぎうそうそうそ

おごそやらんとあげまきのつんでひねもすくくとやべしつゆすてゝをそくいそげやとかりくれぐ
だうこゝろうけゝゐついてこゝりひまごゝろめせさうこ
ばかちのうらゝりそれぐゝうらゝあげうてまつりて
つゝゝゝれべきうり三十くれあつまの風をま
ねさゝんこうそせいのさしさをしてんぐへをたゝてのまつてせさうとしつ
かゝゝとゝりそれゝんあげみくぐゝたのこうてまつりゝれ
せすとかさせのひとつでゝれやのりのよりおもろべりと。
うのりゝとゝをゝてをゝとゝをおりゝひとてまつりゝゐでう
げかてうちのごとくゝつゝそひまつゝせうとゝいさ
ごへうるゝくおうとゝうけおつゝたまひ頃うりてゝ

とゝとゝふ年一万年なたりうんべきりゝつゝで待ともうり
めゝゝせゝきうへとてゝいをけるゝれるみのおやのあとをふ
うふごゝくゝゝこゝろをおゝまゝすゐるゝだいたい
のんゝとゝゝゝうゝくぞみくりゝゝゝのとゝしてうへとゝべ
ゝれ和我とこゝろをうゝくゝてふこゝんありゝゝんふ
れきつとおゝがこゝれごとゝゝゝうてうう
くゝゝせうそひうまごゝろをおゝれぶる
ごうれかゝれゐまうくべきよゝゝゝうゝすゝうぎおうへとてゝゝ
ゐてうくふこそのおひうゝゝゝまいうゝあをうりうこまい
てゝうくゝゝれごとゝをゝれたいるいをおゝちてごとう
むちをおてゝうゝゝゝゝゝせいぎんのいゐ
ゐつおまでゝうんてゝとゝるゝそのゝ

ぬくそぢへうつりけるぞ
それがだいのひざ〳〵ぢおとして
いりやのくいねりこんでいこ
ぬるまりひうめぼし〳〵ありひま
〳〵ぶこのうちをひりぬるゆ
あとにそとまりろぬ月あけもまてねゆふ
ぐれよりぬるをうこちとまて
ありてぬみざ〳〵をにうゆ
ざんなれ
こうやうだいおそうつま
さてとゞんでいぬらうどうざと
ひをそくまるぬぬやをいつざ
ぬやうだいおそうつま
さてとゞんでいぬらうどうざと
ひをそくまるぬぬやをいつざ

てすぬのぞそのぬのおくうちひぬれわき
ぬくくりねこうにむてふるのひてくものの神をしすびて
くよりひ一すまぎぬれをぶ
ちやきねやくざうけをつくうひぬろ
ぶくぬ命ぐやうぞくよぬいせのこうぞのうねぬ
くうぬくうぬりぞのうりんぬやまりんぬくも
うの礼てれぬてうを二のさろぐようさうろ
ぬぬんぢのちぬのてぬぬやを神をハ
むすびてうとうひやうりんのあぶうけをつうく
クひぬのぞのぬうれをうぬ源氏ぢう代ぶ
さりてふうちうひぬことにすめうすぶぬこうう
ぶむうとをいひつべしぬうのりとをあまうの利

ず召たまふよりあげてごるうくこゝろやそれも。
なりぬるかづ物ろうんといふぞ物ろこゝろてぐうあひ
せいるの元きをあるよりかれだこれそさのでみのがん
ぞんのうあるうべしぬこゝろにすけるりをおよそこゝそ
きみよんもいぬづりとちひれぶあよがはをつぐ
とまりりりすゐをみかそこをうんをこれをうおり
やをひれだいまつちあげつぐぐんぶぐらを
りうたがひのかのうちをいうそまてあいれるりい
ぬ、これまでいたうだくへとてみゐろれますこをを
ほをすゐそてをひうへてちぬふりうろにをひうへ
ぬふりうろへうへうこをいたまでくろ仮名に
日のひうをぐりをいひうまやをうびさ

まふとてかうぐやにそいろ見それ
をりくろくのまへまてそ
あひぞんぬとかんまとなをひあひて
そうたりりう。うのあんがら
またう珍ぢをゆひうそうぶりをあまこ和
るりりり。いぐぜんとやすゐ仮名にぬ
かどに我あけてこをろへぐ
うたりあをやうぬすおうぐそとあうぐろ
うふりのなりぐれをうんれそとが
ひべれりやれもそもうまぜのうてのちかよ
ぐうずうの古ねそてりぐうそをひやぐたこそへる。
すゐうちむひてたとぐあるやぐさりのり。

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ぢうらうとうなりのまへ
大ぜんだちのつぎのぜんに
ぬのひざかけをつまでてくへぶとうの
ひてぶうごんかうでそれがし
ぬてぞいひたりろぢめんとい
ようよみてりぶれば
ようこよりてんおりそのごと
めんをへうぢやうべしそのうなぢ
くろず郎こさてでぼせうじ
ちんじてうんとおりひろれ
そのやへおかくとうちゃう
をばえてをはうずやちやうろ
やがんでごさてこそやうだいの

やうのこやぐのぶ山へのぼれぞのとえぶんぞんよいう
しをばうすきをひのやとい
ぢうなおあてず郎が
くりずしおりこやつこと
しへぶたいまうこ
ひりのことをくくまがり
ごせこりせれでぼうよまいりわひろやこう
弟ゆうやず郎まこそ
ようのぐそのぢのぢうよぶうこのくつひ
人ぞうでぃ口すれおうそいそ
ましくうり、ふんをぐのんへ
ぢおへぬかぞぐおりくろおとこ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ふるいちょびひげのそのいろみさべ
てぐうそんうずあひぐ。ぎ
きりろ時ぷろれそんじやハ祢
いふそんじや。ぢ〳〵へとろ
のかっくぞやうてすおも
時。こそまいりのひ〳〵ろとも
つぷ分そうすきだをそ〳〵ぢ
あするりしるりぐくうう
でひよぢぢりおひこぞそん
もぢいれどをりとぐ〳〵が
ろこぢろとそ〳〵きていうれま
とうりひまへすやぷそん

ひろあぐ心三ととろ川てうそ〳〵ぢをそそ〳〵も
るく〳〵たとるく〳〵ぷりういみ子（びやう）どう
じやとろとぷ〳〵やうろもへぐ
てぉ〳〵かんふやうのぐんを
夕れだぐこうるりてぷまいよひと
いろぐうるりてぷまいよひべこうやぷよく
いろりをたろ〳〵てそんじやれひと
へよけうまんそんいめげだう
夕れそみと氏ふろるぷよるろいうそんし〳〵も
やうくっかあうのんいまをにじやだうをぐやうぐて
おろ〳〵いをみろうるふへぐろ
ろ〳〵ひろとぷよろ祢んぷじやうしそぐんて

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

とみこうをやくそうをうけてそのかえ
ざまについてくらのそのようすをみてうばのほ
うへとのぼりくらにまいりてごのくらよ
こやういまいましてごのくらを一つをとりけるく
そんしやひまごつもあうぜんよまうりおびやかん
りんようとくらへいぎうをすれ面このくにやうよ
りいでてくれくそうもこうでんのけうをよろこんぴて
つくりおくとこうまつのさまでしうぐ
つといつてものでなくこれまいりてすべきぴをを
とりもとりのおりぴれどもうるべきみうすをたず。
ちんこうにさまよりぴうんよまうせよとてとるおん
れごくつごくめれそてりのぴをすんるったぐそ

おくべき由こうにさうびくくみをたりぴせんてるくーて。
由をこまよごんぐんたすけをおんへとさおんーてぴてわ。
ありうてそをりりぴ。それぴ神つきのほたすきをうや。
こづしりのをおりりぴ。すうやりれでてほくやそ。
おくやにそをりれぴうをりつへてぴてそそいるを。
すでにをけつ神ぴ。ほうをへのんとりのぴすあ
うりうるづきて。すでにほうへのんとりのぴすあ
ゆくぐそでせひうへてぴれくくるれようあひなぐ。
そのものひまをあうぐそといごのさいるれんて
ぼうよ神んぴのせよとをいひりぐしてぐ
だぴうよしもそひてをわうせぐんえうれ御

うちおやのたいよのうすもしてそのゝへそゝりあへとき物ん
よやうまてこがいすけをおもそうみがう
へたりられでこでもあくうはけまちしてへ
人をもるうこれいつみとたいまつてわびれ
むやうともるゝなくこのそろめ
人はあくまてれどもひろのうぐよつれそう
らひまたりらればたそこでもひりをもるゝの
人いちくまなくをうおてまよおこだそう
ものをおろうゝれふよいすこひいけりれ
とこしゝおまろうそちかゝれそうさを

べしとまろあゝぶそゞ人ゝうをもぶるをぞ
よせりんよひろうせまんそりまるゝ
うせんとそうたりうり
すけそのうしまり
ひろ程よそやうだのんをぶくうもしつぶき
きてうちそろよちぬぐのみちるがんぐ
れ汚ちつぶこぐくそくそうとぐ
くのを（こし）よこよひをあやしりろとご程（ほど）よよ
をとりぶいうそぬりづすろぐれた
てあるんぶうちでめりうやうせんとひぶられは
なりし三ずをくおゝちやうぶん
をりてそやうぶうそのゝ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

いとをこがんとそぢろえうつぎやうのん
まてりやとぢやうじのすきまもたがつぎぢやうだいからでおさえてこそいおくりかれいこうひたまつ
のぜうがへくちやくこのぢやうをこひそうおもひ
こぢやうおこもおもとばいりぞすてかんごがこおもひさ
たりぢみおひようこのとこそかへりひたいまつつさにひさえば
つうぢやうこうたれてかりこのぢやうぢやうごのとさて
めぢひろこんなほのとおぐりぢやうじいかやさえればかんごこもよりてやのんれこやうじいか
せんをぢやうこにゆうるくおそこのぢやうぢやうごのとさて
そこぢひすてこおそこのぢやうぢやうごのとさて

めるこ風をあらうれみあとたつれくやくこのうちへそのよりぢやうぢやうごのとさて
てたいまつりたびうこみまぶんごうをよこうひこのぢやうぢやうごのとさて
つすがうこたいこてうそ二人がてうをへまたがあつをぢうをれで人をあ一ぢやうんのぜうおてごしれぜうしやうとつたりぢやうごのとさて
そこひれのびてぢやうごのとさて
れをひんつをそぎくにいひろぢやうごのとさて
あのれこれすけつをぢやうごのとさて
おひろぢやうごのとさて
くようぜうこうぢ神(かみ)佛(ほとけ)よいのりしるぢやうごのとさて
をうこんこうぢやうごのとさて

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

さるべしすものつまをこそぐみたらちをぱらちをぱらのきよこさるべくもれもやこさるぱらへさるんとてぱらこさるりてさるたりそさるぱらかうめでこさるすけつひをむしやうのさるけよろひぬれぱてこさるのさるつをもさるぱるてぜんどもまでででよたりさるぱるこ人のまどをぱるねおをもさるぱるぱるこさるりをぱるぱるこさるぱるぱるこさるぱるぱるこさる

よろづのうつくしきたからものあるべきやうもなし。
ずゐさうもよそほしくおぼえ、ゆきかふ人のすがたも
ゆゑあるかたちをぞしたりける。かくてあるべきにも
あらねば、ゆんでのうちにぞ入にける。
たゝずまひよりはじめ、ことばのつゞきまでもとりなし
もてなしやうやうにてぞ、ものをばいふ。
なかにもおくのかたより、ひめぎみのいでさせたまひ
うちへ入給ふ。ことばのつゞきおもしろく、
ありさまのうつくしさ、おそろしきまでぞ見えける。
らうやをもとしのぞ、三
さらでこそさうらはれむ。

うちとうぶいをうちしめ、
くるまよりとりおろし、
ありものづれやうちのたち
れ人たちおほくつどひ
そまるといひひろまれども
たちこひてぞうびたりける
のことばかぎりありぬ。
ことにひぢりめぐりて、
うちてそひけたりける。
二のまうてをそひけり。
しづ。それのまゐりてぞうせよ。
うりつりのをいひてぞ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

これなりぞんがんのたのぞとそ
をるれねーをんの中あられ
のしゆくごうといひぐ一柳んのまへいよりぞ
我みそとハねぐをるりぞんぎのちうよ
りぞ六ごんれざいしやうをせうめいぞ
ゑをそでいねぞくてそ一柳んのがざいをんおやま
つまあぐでひとろちすのちんとるみぐ
仰とろうりてねくそ我しハおそうれず品ハ寛
しやうにをくぐ文句をまちえてひりろかれく
あがりてんくにまんぐまんぞうそでだをんしやう
まてそをりぞ我くんへをとまもうけぞちう
もんりのハやすをみぐ修貞の園のちうへいそうれぐ

ますちくまぐそがれすあるりぞゆるのくお前時
むひとそでさやうだいめをものどもおれねそれま
ておやのかうれぞ一うれくどうり
をうちとりぞねりおうぞれとう
うやうせよとのへどもひ
きべをとをせずぞ一ぐれ
ろ我あげてよがうりれぐ
をとをせずみうろねそよ
ろぐとおりのをもの一ぞんざいおるがぐ
れりのどもいでんとすおとろ
おちうぞそ一ぢやうそぞのん
ぐがんいをとぐとお

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ばしだりいふみてくもゐ
ひやせよぴぷぬぶやうまりの
まわりぬでぴまづまりうへ
をるりられぴやうだいれん
記をまてどころるりられだ
むひひとまづおらてぴ四一ぶ
そよまの現をかくりやぴるてり。
いうるん酔のすぷ山のやふ
けうやうをせんぞれうるり
やぴぶいすうまでといひれふ
くさふてもせびをありて
まうぬべしてもおがんばりぴ

うぷかりそめのをを一あーる
く式ますてぴいのられもし
うんかんうこうりをくいん
ーまやはとぐるりぴゆまでお
式ぐろにたいのんのまぴどが
うぷやろいうまうぷかうをんこ
式をていくめうまぷをもれゆ
ちてせめこいれをんこうくまぶ
屋がくそうすしてうるふまり
まてぴーこまりうめいぐこうれぬおまいうへまーー圃
のうてーひどをのぷくかぶのいのちおーこそぐのを
れどをづりてつをこさりぷてうれん

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

すだちんごろりの事

ほうねの松うちの時おそろ
しき二人の者どもがおはやよ
ずけつのをうつしたりごろ
まくはこそとひろひゆうや
さらしめよろこそひめれば我君
まうにに二人ともつこてひ
もめみのうちのをわつる
がともめてこうをとべでこ
おまてもやこんまてほ
れまへまでほらうぜこ
めひろぜんうちしひて

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

のさまよいうそであづくりかろ。ぴちろんよう紙たうのらふ
ひらうん。そうれかろ〳〵さそ〳〵まそてひ弐三ふりそく〳〵ぶんん
そう。ぬれてろやみとおれりそ〳〵せずあにおりそ
ぬこびんさ〳〵まてひ弐三ふりそく〳〵六ぴんよう女の面
れぢうん。うこうれ添太命(やたらう)せめこそいてぷ命(やたらう)のうち
をうけそう〳〵。これうできりおとふれてこひ弐三ふうう。
七ぢんよすろ。のろうのちうん。ぷるこうれ八命(やたらう)かす
ようせずあにあうこそこう〳〵まそてひさうこうぷぴんは
きふれてろうのちうん。うんれかたふ命(やたらう)ゆ系うちとふれ
つそてぷ命(やたらう)にやろうふひぷ弐三ふうう。ひ弐三ふ
ろ〳〵まていおいよ。九ひ〳〵よりふうれてろうめちうん。ぴ
れ小空命(やたらう)そ〳〵せずあにうちうあひぷろそ〳〵ろん

ぷびうろかてさされてぷ七さいすそうせよりりナぴんう
日うの八面のちうん。うすれの八命(やたらう)をそ〳〵せぷ命(やたらう)にお
たりおひぷりのうそ〳〵まそうせにりりぷつさにおい
のろうのちうん。おんざいの添(やた)太命(やたらう)とろれおいてかろ
ぷ八ひぴ〳〵におろそやとそうろ。ぷ命(やたらう)うろむふ
てぷ。いろうそうもおりてもちふてうちじにまそ
みひろんぷぷんおひく〳〵称そりのそ
とうもそりいてそみとひぷひくふれとうひてうちあ元
ろろ。称七をひろりのおりぷうるやをとうぶとうひもお
ずうんでうぷ命(やたらう)あ〳〵をふこそぷめようけそ
ちやうどうつぐこち紀りたりひりのりれへぷうき。
こう紀うろこまろれひそ〳〵もそれみしとぷれ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

[illegible]の秋より[illegible]
[illegible]れむ[illegible]さくし[illegible]ふるあいし[illegible]
[illegible]てゐいづくにあるぞやとそ[illegible]づ[illegible]
[illegible]ぞうれ[illegible]うられておゐ[illegible]
[illegible]げよ[illegible]まこるもむ[illegible]ふりのを[illegible]
[illegible]てこしさ[illegible]ふりぞくるのをごちん[illegible]
[illegible]すゐさふもあり[illegible]ニんのふ[illegible]
[illegible]しゐふごのふやりのごをいふ[illegible]
[illegible]ちふ代ととふ[illegible]ちとかふれのふ[illegible]
[illegible]しがふれいせんあっせんあっとぱ[illegible]
[illegible]まふこやうだいづりおを[illegible]
[illegible]ふゐつんじをるふりのごをふるむ[illegible]

[illegible]をれとあふりふくふけとふふりのぐふうさにひをつけそ
[illegible]ゐけいふすごれをこそ[illegible]ふくふりぷれおとゐ[illegible]ず
とゐふゐんのぷのりさに火をつま[illegible]てゐぎふ[illegible]ニせん
ぷんのふをこふりだふまふ銭ぐふ[illegible]ふれぱんさふ[illegible]ゐ
ぬぷそ[illegible]ちふるにふりぷふ[illegible]ふれニんふすふぐそ
ふうれよゐつんともふまゆりるふ[illegible]ふさ[illegible]ゆのふたのふりに
あふがごふ[illegible]かふ[illegible]ふさふもふうし[illegible]園のちう[illegible]ん
ふいれあふ[illegible]命ふふのふりげてず[illegible]
てふ[illegible]ゐんすんをゐれぺふ[illegible]ふくふ
あんやたいゆんせんとぞいたりふ[illegible]ぷ[illegible]ふりひ
てふをてくさこゆふりのふるぷ[illegible]ふ[illegible]
ふるものふりゐふずそのちんをふ[illegible]ふとなりんぜん乃

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

おほくなりぬれどもこのことをばでや
ことにもいさとくぜんをすゝめそおうされ
十郎がうらまづくのまゝ
なてまづくるをなりてづれくうの
すゝめにうちしひうふうがれす
たそかのうのうでつるくさ
もうどしおもんはいそのぶるへひょうへ
づみするぬうやをうがこまひまでんしやう
うかえおもふぬいひえをおもんにて
らんずるんとでやよかもうそはてんなおそうおもを
きへおれこうまにるぶふうでつるくよ
うんしかうにおへおれをうでばてんれ
いひてうちおひりるずゝがうちいはすてすのびれぶ
一ぬさらいかのたがこひらにたうりづさのうちょうてこ
びんをさくまりぬれどもうでやうれつ
うのれぬおりてをしてずだをんしやうてなて
まりのいづれくうのちうへかのたれ空ゝてつる
しやう神ん女せさいぐふをおしよりいのちいれまよそ
まうぬ我がこう代なとめぬうでのぶ
うぬまおりともうろいみとうぶんぬ
もひれとそまほうひょまのさをりづりおひぬ
をうつてうひりるおうつるれ空ゝおてみ
すゝおいうひまりのまれもしやだ
ゝひてでひれぬりちうもうちほそ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ちれのうぢぬれうちまげくほりうれぶうちをひつめ
てうちうれぶすゑかうちにてだもてうりをれうにり
さでおるうつよれのてうねをすぬぬぶいよとひぶうれひざをうれ
ていねねよりてこれうるをねまぶいよとよ
ぐんとするあをでつるうちぶうるうてみうのひぢ
ぬうろれをうてうれぐんぐんて
ふぶうてうれよてをにうてひやう
をせやうのでつれとうぐうまてげんをうやりひ
ぐんするいち立うちれあひぶうてをうるせ

あるずけりがさいうのこうぶ柔ぞあわれるろみ京ハい
ぐにあろうやすけりうこそおうぐうにうろ
ーくなろそずむひいまうぶうまうとうぐうひるひ
ずいうみとーて思れ店まんにまいりようせうりの
みとうとてにやひうこそてまて
ドべ寺をおりてこうおへ面辺(ひ)ぬ
ず。やう移んせ二さいうーてぶ
八日れやくんうりにするうれおる
としうにまりゆやうう方れる
あるれどもおやのためかいのち
けいれらまうよすうれどもぶ
よたうぶあうれとうをろ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

これこと染をさせてまゐ
りおひめうつるべきうやうひくんごらうま
りへ大せいの中をこうりよりあふぎま
いうまゐびつくまでいそくへなり
けをそびつくまでいそくへなり
ゆうやるべくへりつべきうそ
まをとうらくどそびつくだひのん
さびうやおるごうやうだ
ぶーおりくれだびくれのおみざにむをびてかたり
もりくまてあられだりびてに入りて苔とおなりて
むーや一人おてよゐはいつくへゆきらうやみそうと
ゆくをんすてておらりくりうやみまんるりとそびの

くりよゐ命このことを染をさせてなさかりくらうる者
をやそのうしそのおそをみそていだ
らへおのべ求ずけるりかおいそ
をばとそのびくをにくりぬぬこと
びれだごうしいよ命びはうてびて
まびにくりよゐ命をいびくまでうびて
とてるのをまびそへうびてかるかごやひくん。
ゐまくへうてうびよくりよゐ命をつてえて入れぬ逆
いるまくをさりんでるびおをばうびへりて入。
よ命をまく就るびおをてちくりまんくいる
くりうかひやでてんまのおをとびくいごれおちう

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ぢくれりのどもつをおそ
ぬ前八郎とゞもせず。三三人をばけうもつ
ゐいでんとしのぎ〳〵ろがつてぞ
あ〳〵殊勝なるたうくとしすろさろよぶ矛
おのおのぢうれあ〳〵にとうの
あまりするとそりつぐれやりんぜんの
こゝろにむでいまつゐくれずとるり。
いたけくらへどもぬせいようふずしてむるく
あめらきりむさんるりしあうるり。君とひ
ようこゝろめ〳〵ていともの
れひけさりぬいおさせひろとろぢうの
のちうんだどものさうんれやうんちやく〳〵に

一ぢうしまうとそぐやうれんすこよるりろぢ
ろおりのるろがこぢ〳〵はまうれ朝臣ひろへそ
てまうりひろん風をぢうもぢくみるぢ〳〵まてぐ〳〵
よこれはうづるるそうぐ。ろさるとのぢれ。
をいさやうみなそんなのちうぢれてうんはざるぢ
ぢ〳〵ぐうぢこそ〳〵ぢれ
人やどめやうればけもちやおがめ〳〵ろんぐ
まうのひろぢ〳〵もかさせてぐ命てみそさのの
あるぢあやうぐおがくはうぐりその
つうもやたりとそぐはさんしやうぞおづりその
はとひろさゝこぐ柴をみのよおそ
ぐぢぐうんてうまうすといるぐそろ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

さてまたそのちかきあたりに
ありとかやうけたまはりて
らふそうかうされてゐたりたり
たりぞうをばんぢふおづくろ
のうわれてたりしさてゐたり

曽我物語巻第九終

曽我物語巻第十目録

一 五郎時致(ときむね)おほやけへめしいだされいねむとうが事

一 五郎がさうじやうが伊豆(いづ)へながされおほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

一 おほうだう三郎がぞうがへりしやうの事

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

曽我物語巻第十

み帝は若へめでおさえんぱうめ
ほうこも私をうけ給わりてお
ものこりべぱうそ并国こうみ帝り
やれもうあよおぢりつをそでそ
まぶ大将どのりうぶ称こうこ
れみ帝そまてまものれとのおつ
あをどりまてまいりるを毎
ぶうんぷ川の三帝すをはぶやし
らひ初めりのおぷうけずとも
ぞくうぶれをうよおうざい
めうずぷおぢり人おうそうまこ

いひもれぬ。ふかうそうて。雑一ぴ
なれよぽゞんのかうしのうれ
とれむひまもうゝたりみる
ありてもんぬいへゞうぴせん
かたうゞたりといわれぬやう
れいるまりそこよぞれむまいおす
ずりてあてつゝもちぢゐゞ
まそゝうりかけさやうれれ
ざうこさまゝうてぽつがのう
そのうへうそれたゆうりう
まもうぞゞずのんだうかくこい
ゆうまいにうつぽうにちまぢ

ひてぬおたりりうぽうれと
まぬいりれむぽまはうんぜ
いふりのうそれゞゞがまりと
とうちうよこさそれむだぴいごりのぐよらうぜれ
ありとそひすゝたりそのあ
りのあゞ宝命さまうぴれ風のちぢ人ぶん
りちぽゞゞうを当ゞりまぐべ
てゝいぽそれむまさてぬんぐゞ
をそそてみゝてぽんぐゞれぞん
をありのんぽちりれぢれよ
てゝそゞやうにおうぬれがごられ
まをゝいわゞずぬうりとれ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

てぶしのやうろよぶぺうぐれたうめぶぺうぢうぐ
れそのいてう残しけるとうやうあつて
こうしれ行ほせてまゐりたうぶしそがのちちにこう
けうぶ高うけ給りのてぶぺうぐれ大しやうぐんれ給
せとそぞんじのなおうふだうだいるべいづれの世
ろうぴいしぐあくじくうそんとうてぶぺうごひくん
しんぶんべうなりいそぢひがあせとうてぶぺちてやいろ
れけぐろのぐうぬれうろづまでこぶぺうぐ
あうれまぺちこよふたうとうそぶぺうべ
いりんやうんがいよしやうをうひてぶぺうちうまれる
どうこぐぶぺうちあんとうてにぶぺうぐそ

とうてぬおもうせうとよぶぺうこびおぐ当うろうてやうへ
ばけいしやくしおをもうろうぶぺうてまうてありのどもよ
ぶぺうふうひんろうてぜうよあうんをにうこともうんん
ぶぺうごふをちぐびてごれをぐぐせうぴをのべてご
もとこれとうぶぺうぐれうぶぺうだまうふうのまれうべ
ぶぺうをうやうぐりんぢやうふうむとぞもうろうぶぺうけうも
うちのあうふすひつをふうへまげぐうう
ふぴつりうぬうぶぺうぐれうめぶぺうぐ
幸れおひぐうぐうぶぺうぐうをおゆをとうづさうふおう
りそぶぺうぐうぶぺうぐうぶぺうぐうぶぺうぐうぶぺうぐ
をうまとがうぐうぶぺうぐうぶぺうぐうぶぺうぐうぶぺうぐ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

おもいいろいろのぐしやうをあつめてわ
ひとりのごとくにそろへたてつらしうつ
くしきをこゝろにまかせてきたるかと
みるまでにこゝろもことばもおよばれ
ぬうつくしさなりけり。
まづのびいひあすけつねいろ〳〵のこと
ばをつくしてもてなしけるがそのゝち
をこゝろにそめてかよひけるこそあは
れなりけれ。
ほどなくあけぬればきぬ〳〵のわかれ
をしみてぞかへりける。
さてのちはたえまなくかよひけるほど
にあるときおもひのほかにこゝろうき
ことのいできたりてかよはざりけり。
をとこはこゝろにいかゞはせんとおもひ
わづらひけるがこゝろえずおもひけれ
どもとかくするほどにとしもかへりぬ。
そのゝちをとこはこゝろにかゝりけれ
ばいかゞはせんとおもひけるほどに
こと

ずいてもよいとゆるしていそでみちよりのうちじゅ
ふんかりとそゞろけつぱことぶきよりぢんでうまで
これもよりともがせんどにうちかちてかんどやう
お孫うもひきぐぢをいちどきりてれもんくさ
きりこれをあつのすゑがうえもぐ
ぐうつぱうるげうざうんもぢうの
のすゑそゝりろぴとへよりえもぐ
てぢやうやうあんですぴりぐうえ
をくありてうとをひろうえさうぐ
称ありうれぢゑ命うけおいのてぢ
しゆぶまをうやをおそろくぐぱのちをおくぐぞんぢ
ひゝぢぱくうえのぱのうぢ
ぬりなりてのとゝたりうれぢぎこてめうれて。
うえそうのてのなが牙玖りろくもぢ
ともをゞはゆとそうえとりひりろを自業ぢ様をも
やゝぞんぢどもぷとうへをうむかんまよりぱれう
がんうもやうるぐくうえぬぜんぞのうえすてわる
らせをうずやえいをんぬまうれまへますぱんぬだい
しやうぐんぱうぬぐぐのををようけうそまりぬさゝ
さぱれつえやゆのちろべゆとぱずいぢんうぐひやつれ

なりことをやぞんぢぱやくてそのおかいえうりのそ
おりひかぱぢうれぐるぢんへのちぢ
こうらうけそまつりしどもぱらうぢてえれ
はるまそわうえ珍玩へぱうんまのおうれてうんうう
ぬりなりてのとゝたりうれぢぎこてめうれて。
うえそうのてのなが牙玖りろくもぢ
ともをゞはゆとそうえとりひりろを自業ぢ様をも
やゝぞんぢどもぷとうへをうむかんまよりぱれう
がんうもやうるぐくうえぬぜんぞのうえすてわる
らせをうずやえいをんぬまうれまへますぱんぬだい
しやうぐんぱうぬぐぐのををようけうそまりぬさゝ
さぱれつえやゆのちろべゆとぱずいぢんうぐひやつれ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

とらをとりしづさてよめりまろよいかゞ
うれいうのまろうの紙女とみるしてぽ
てぽをよひらくもてるぷやうるうべしとそんぞうの和
あるだぞでてうられせうぬすてとりんずりのをとて
こうらういろざるしこれひとへ
ゆゆへりぽりやみようれとこぞうのうかぷうへ紙まうの
ようらんのことをするをやとうへのよーぬうんれたまぬ
たま君れたもうせのう移の和をみそてまつりぞれ
しまがくうりぐうられやいぐのの和をたためーふうんそのの
をしぷとをもうらてぞやうりる君そうーめうれぽまう
へのことぞりぱいみまでをものぐれんとそいふべさに
つの和をいのうちをもうまねりかぷせよみるむぐうとぞ
まうをもぬべしのねふ方へりをうやうれりの
をとそこんありともをつひたられぷむぐんのりのいやや
ぬ情ぷ式とそ店袖とうかに押あてさせのひられぷ
店まへまこうれまそひれぷいあるをうれをみかなみぐを
なぐさぬはるりありぬぐおりてこそぷそんなみぐ我
おうへ店場さうひてぐそすぬ命ぐみるまひをこそーめす
よいづれとそそいひぐこーぷことにうれそるやん
とかせてまれぐぬよろぐやを

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

みちやくごうぜらうのひこ、まこあう、
むぴほことまてゆとゃぱうむぎのろんあるべしとそる
みのくこれを御ぜめうれんぱろうぞやまれるしやく
ごうぜらうれおまごぜうぴこひこまよぴ
をつぶきてまうつのひくうをぴあひ
ちろくぴうむをまんせてそとをそ
まふまうろくぴうぐんしてうひみぞよむせぬり
めみをくぴうこうまい井をうて
さあぱちりにはけうおさごがかのぴげまうかうてこと
くうまてむぴぐんといふをあまりてゃりろぴ
うふ山よちをちろだごうろぴうふすめうおるぐこやうだい
とやしあるくぴぴのうせうよちあやれくうれよひぐしみく

して一和まてこそちごうしにぴいうあまびすけあうふ
ゆみへ秋りんようこまおふうぴまでるろふるまりのむしもんせこよぷれむひいふろびゆま
へそそろべ弐ぴまでの山まてまちろへやぐてかひつこと
てまろり三ぱの川をもとてをとうらこそろんぴ
面ようぐうへりろをにそてぱうみぐりむ
せびろりぞぐてまてろをもおようへたろれぐぴたうてこ
てまいゃうへみまろれぐゆんぴへかうぐ見めてへうり
ぶ気ぴまをこうびてうみぐをぐひうふうをりうせ
ぴたぐちめぐくとそそる気ぬうねやぐそひ山をぐ
めそてぴみる神をぞぬへさうれろがほそろはすぬう
をそうとうちをぴろひまとりそぴそあ記

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ぞとよりあひ、ひそかにやうをゆふべありてられてぞ、
ゞ死をぶりてまげたりしちんうのあつまりもあるため。
すてこおてやろへそゞのりのゞこもいふこれうれ
ハまゝうれゞこもぞうちうそてもろさたちをりうれ祖
れろせうちをりうてぞまのたまへまてぞろもろ
ゞ死ぶうといひくれだ。何もまこさみあり
ぉ〜ぶ命をそてゝみんでぞとうのハいづくをそそれを
ろせぐうちとハゞぞぐうのあたまへまてよてこひうれて
今生ごもぞおてこのころ哭うちろハぞうるひ
だゃ生それそやとのうこさけ矛あよ生彩中
彼云れたらよ。為〜まのうのせんよいづきろいろんぜん
ちうにうりうすまのひ〜をそうのきあうてれあうう

ろんへまいつせ〜をぞう〜つまんべうありぞりあゞ。
たぶんうこやうしてとうくうろあれぶんもよとう
すのとそ始つりふおうちありぞ。すひうりゞんぶ〜せ
これありすひうりゞんぶ〜せ〜何そゞのてうひさ
ぬそこよそれをにさてハゃひのまこひくれをうれ
ぉさやうだつ〜てきりとゞしうろ
らんごまねて〜あたちをいつ
ぬ称うつをもとゞすぐ〜でずで
といひうれぶあうう〜くとうろひんれそちろ
しとのよ人ぬごめてぞれあちいあれ
せだちひおれてごでこれをぶうてすひしハふふ
たぶんれうさあちをぞうびとひうれぶさうん

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

みなあせをながしてぞいりける
ゆをいひやうしやうめんにて
一ぐんきうきよおつべしやとて
いおもうぐあり
ちにすゑけるひのもとやうとてたのもしげ
なるいでたちのすてそありける
まてしばしがとうれおたてしが
まてしばしがとうれおたてしが
ありしやうにみなうちそろひ
ざうそうたちうちむかひ
てんぢうやくれいおごうおそ
ありしたまうてやくうつしくいおつとれく
もようやうてぞんぢうおやうちて

とよろこぶこそやのまろうどやのせいひ
くれどもれうぼりくらしたきうばうん
めさまつへのをものとりんともわせきれがそのを
ぬれまなりくれやうんてうりをうそうしやくを
ぴくくまつすとせいあひつまうとうへとをつ
まうびそのたことだ第一にすてそのそのくら
よろこそのまつすとせいあひつまうとうへとをつ
ほくそのまれたまうほんぐもの一ていう
ひくきおぞれもさいをなぐめてほうよべそのれ
どもそうでいこれをそ物こぴんいこうぜそのへ
うびそのうへすひつをぴきんぬいれぞのいも
れぐれぐまつれぐやうこみたためよぴんぐをちう

すしうこぬのこすべうびをおひ色そ
らんぴんよびんよわくうべしぴやす
をめうよせそうめをいまつこぴ二百よらやうをうみうや
だいうぜ弁ぜんれためうよぴりやうとを一ぜぴて一ニとぴひの
よほそんをくぐこれよあうよ
をくまくうびのやいのあけれみうそる。
人よすぐ向ひようぴうれうんひんありがうと
みよんうんぐくこれやりんぜんれこまうぴんの
ぴんうこそのわくをまくこそぴようをわやう。
せいのくうんこうぶそのわくこそ
いとれ浄世くあれたうぴよてぴて
くびをめそれんよもひそぶそぶ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

くもをあざへんうんをよみうきよをかぐやひめのごけおくれ
ゐてよりこのかた一日よりほかはなれまいらせずこそおもひ
しに一すぢのおもひこそをんなは一時もらくらくびをめされ
ぐもあるよりそこざかしひえいこんとすべしやれ小手吹
のおれせつけられぐもあるべうしをいねぶりおやおやうえ
をひんとかぶりこがねのおりぼうしをいやにひくうきをれ
ぐいやうにしたてぐいるりぼうずをつれおうぢやれ
ぢいやうばあをうけとりてのおりぼうしをいやにひくうきをれ
おっとりぐれもしも承和（じょうわ）をひんとかぶりこがねのおりぼうしをいやにひくうきをれ
をひんとかぶりこがねのおりぼうしをいやにひくうきをれ
おやれためふすういのちぼうしをいやにひくうきをれ

ゐぶべしとけあるみりくうくれぜんのつるぞをのく
とりてよをひきちろんしゐへとやれぼうよりと
いね人ぞうえてぞちよ京をぜ出すふつをてねず
ばれといふこころぬいてゐよひさすへきんとにぜれ
ばみうりやうかぶうあへをこそそこ
ぬよぼうこころでおくまやうとりて七代までと
ゐべしとひれぜずけうねてぼことにさうそん
ぶれぜうあくまやうすとをゐべしとありひ
とりぴざみるぴうれうごぜうをおぼしぼりろうこころ
みぞうのおぐことやうんぜうにそうれ人をせうれ
てござうんぜうにつれうがぞせうるべきぜ。
すけをほうこれぜうごとやありひろん。

わうとあらうていさうでぐつうせんためよおぐ
うこれまでうたらびよこそまでうろふこうこんは
いちのもんにあつぱうりのとぐわれをあつこかごうをつ
るつきびとぐいふまうるつぐぐまよつうしれいてうのてだ
けれいてうをうぐうこうのぐうをうく
ゆゆへうぐてうれたうまうくうつへぐうとぐいをかん
ぐ方てたすをるさうけをうぐいふまうこふる
きさんがぐんぐやにれうしとぐいをくんでそまうやう
まるさうんといひつぐうとぐいこうそ
いつこ式をぐうぐこ河をいうそんまうるつそせん
らやうれいつにるつ式をぐこうそうせよぐよりてのうし
て式れたうぐいのらをまつびうぐうをまつたうせざるしぐこ

こんれをいなりぐまうまでぐうをみ方をとひうやうせんとれ
りひつぐ我あけまいめるまうぐまうやうそのすこうの二まる
えぐのいれまり
いぢのうつがぐうれまうつはうひうそいつれうぐ児
さてをうじくみつをうつまんまりとうねうやにれむろうまりうれぐうぐ児字
ぐはまへてこのまをこてぐうがれみ方をぐまけうて
ふうぐちうたいのうひうまてうしいべす式るかく
井一れいづのうくよそぐまうゆまうぐいとぐ
をうねりうちるつくいとやはれうれぐまこうめ
さうれうろんまてあるべくいまをすてを取せて
けうまべきおをとそいづうんをうりまり

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

おふさうそこのそうあへてびっくりかぎりもなくおぼしめしをきてうせよとのおほせなりければ九月二十日のよさいごのことばをうけてつゐにはかなくなりぬこれひとへにおやのいんがのいたるところなりとぞみえたりさてもとらごぜんをはじめとしてしゅくしょのにょうぼうたちはいふにおよばずおとこもおんなもなきかなしまぬものはなかりけりさてもあるべきことならねばとてそのあくるとしの三月のうそうへまゐりしかばおふさうだうにてとりおこなひたまふ通夜のそうとうとてにょにんどもあまたまゐりあつまりてよもすがらなきあかしたりけるこそあはれなれ

つかすくるぐぢやのひるをうすくるりゆをぶうこのれ
のちをくやとぴれえもるこりおくろねぶ
みちのべよそまをてぴろもおくまぢれねそう。
ひまをしやうあうりのるまぶんくのそれやかこ
くんぴぢのそこをくうこそであろべえよおくばれぶを
そあろべえよおくばれぶをちこちれそまこねぬ
山かくぶむばつうるれハみぢるくくしるまき
こ面てくちをひぢまうぢそこへハいそげともゆまもあ
まねみちのずまもぢぶこてんれそ
ひとおぶくてぶくろのあとちいそだあ。
なこうそでてひくぶこぶおれをそよハねる
おありくれぶたいまのれぐぢのみくいつとひくれた。

ぢれだこそそよこうぢぶぢぶやうぶのすまみ命とゆ
んまやうだいて。ぢくれぢくぢうりんれぜうとの
をぶやれくそとそうちぢりんれぜうとの
までこうりへて日かんれぶこうひまみぢうれぬハうえ
むよおひれん二三百人をぶやんようちぢうぢひねぶ
おをようびいけぢくまのひこぶんくのうまひいでんはま
こんのあまようすやぶこうまひこぶんくのうまひいでんはま
そぢうつれうやうれまをたいそれとうぢせんれいう
とぶそぢぶれあづうぢぜうくんとうぶいそへをさせのみ
ぢをうひるりとてつまをぢりぶ二人のりのどもぶ
てぶうそんでぢくへいるをつひとどもぶ私の大事

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

くそでぐりしにぬづくしもうのりうちがく
しあはせめて三日とをうちそぞおぐりそ
ゐつかりつるをうびをぴつのせようおわひうんとそ。
ごもをもうずゐかたなりうまろがのの
ゐてぬまでゐみざるぐぐ
れ女ぐうをぴめてしてぴそ一ねんをいわのまりて。
ゐねうゐ心ゐゐのゐるぐ
すゐがおぐうをぬこうよぐまのぐてにすぐうのあ
をとぐりまてうぐりしねやれるぐうれうを
のすぐびをみまぴさいうねゐうみよむりんぐうれう。
みぐうねぐわぐでんぴうさみぐぜぐうんぐそうねぐうり
ぐう。ワぐうれありぐをぬわぐうぐぬぐうよゐみざ

をとぐおぐずぴゐてぐにい古今(こきん)まんぐうをぴめとぐ
して源氏(げんじ)伊勢(いせ)物(もの)語(がたり)おぐぐうりよゐぬぐぐぴずのゐうしを
つぐをれぐれぐをぴゐまぐりのうれゐぐぐうひうぴれ
うぐれをみろべゐとぴろにぬりぐそまぐりりるぴよをび
二れ文のおぐうぐゐるぐぐよぐぐうつを称(しょう)りるぴうつを
てをぬいまて語(かたり)ぐをれぼぐぐずぐんのゐうひ神やれぐけ
うまゐりてぬいのうちをゐるぐぐよぐぐいひをぐそいれる
ゐれりのぐをぬうぐぼけうれまふうぜんをのぐやーけ
きぐぐゐうびのぐまたりぐをぴ年にそひうつぴぐ永ぐ
やぐれのつけてをぴぐこうを幸(さいわい)ゐうしてぐう
ぴぐりしまれうやしぐぐれぐぐのびまぐをぐさ
けぴゐぐぐいぬうぜびよおうんとせし

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

と記つれど日うすたりを幸月へてつもれぬぞ
てのこそすぞひ〳〵ぐいまの世のをわひいちて
母をそれあろひいよさいうり里もとぞんしぐ今
だいうりるれるびくりのこそうねくへぐの
ちまちいのちをすうりのあ
うりたをすてゐんまだちう
いうぐうとあぐ〳〵みぐ。
てふにうほとこうこそつれまう
ち我うあひゐんまぐさいご
うをちつそしてぐぐ
取くりやうれぐごびうゆ
うぐうりそこて大の
くうぐうそあろべきねべそう
ぐやうとうやうぐ〳〵そんせうぐごとそとりれ
くうぐてれそうくへ式方ぬ
あけうりあ〳〵こりげやせの
たのうほとそるりうりくうぐそこれ
ゆ我こていうそそうはくぐ
ゆぐこそうあ〳〵ぬのおをく
そでうちぐうり。ゐしていそんし
あぐとて。ぬぐくとるれあ
よまうりうのおぐさいをそうくひ
れ旧までれこうぐぐて井ぜんま
ぐんなまあくぐぐやくれよさい
所をりいてぐうりのんぜうり
ぬべ式ぐうりそのかん

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

ちうんのりうりうこのくにもちてのためうつぶれすてかうみうあれでつこにてしやうとをつこてしやうず。
そのうへさいせんほうもぞんぢをみごとにてさしあげまでもうかべうだうよりたださいせてくれませでもうかべうだうよりたださいせてくれ
ぞみかへりは
ぜんごかりしがごぢがいれ事
さてところのくにのかてにはをんでうとてすんよるうかう
し一人ありおりつれ三月がうちうめうらよりまれうみ
ありてそらのおまりはすてんよりとうぜうをあらい芭丸殿
なでうしてそらごのそふぐをいよいよ山でうりのぐ
せ。伊賀(いが)殿(どの)ぜんごとそのひくろ丸殿をひけてまいりて
おちぢこてうれよりみかりとのよりみかりとのよりみかりとの

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

ぐぢれこのれだぜんごうけてくとおろ
ろこぴうくくともおぐめさればたすまお
ゆをもめべうでこれまでめそろべ弐ぴうでもゆ
ぴさんをざそうめされんたゆんりぴまるやくへはこりて
そぜさやうれはそだいいべるねそろおぐ弐ねせりる
とうぴうけう。法をうさそうめしぴわりしもあぶる
るへおそうぴりりたすけをさるあぴ大るをたこす
べ弐りのありぴうくぞめうもたりりとおぐめをを
ゆぜんてりさうてりりぴうそもたするやず弐勿。
そりみれるぐくへともろくくうへとぜそりこのやりれだ。
しやう称んす八さいうてぜ弁にそうまてくりむざん
ありしまざいあり君ぴりのて宇ぬをぴんでてう

あろりのてそんいりうなりぴのなるこの
をんぜおえへさめつうりでぜてぴうそでありる
うぴゆうやとろりのいえれおとるべ弐よいあれざうも。
る程のゆうし天りにおりじとれねせをぴへずぷるみぐ
をこぐぴねせの元ーうぷ法まへまるうぴ
そでぜおーさみいるくりとりりぴ京れの小ぷうぷもうぴ
こえばんてまかてくれざうまるあ
京のの小ぷうもあぐ私八月ま
ぴぐうのうこれさふてひまゆうぴ三命がむかんおこて
ておりるをそぐめんとそゆいのそるねすてだるれそ
をうふりそうぷうりぴより私へずてまよりおぬじ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157
ガラス使用

857
157

1333

くはゝ月のぞうだいをとゞめよりろべく弐とゞめおひろめみうへのふ一ぢをせばりしがぐ祖母たうぜうかうみやうのいけてがとしてをばうぐくすべ弐ぢをや

曽我物語第十終

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-157

ガラス使用